胸部外科教育施設協議会 令和 6 年度第 2 回幹事会議事録

日 時:令和6年11月1日(金)19:00開始

場 所:喜乃屋 金沢

次 第

1. 第36回学術集会の収支報告について(市立札幌病院 中村先生)

令和6年6月15日(土)、16日(日)に開催した第36回学術集会・総会の収支について資料1(収支報告書)に沿って当番幹事中村雅則先生よりご報告いただいた。

収支について、学術集会運営補助金 100 万に加えて、今回は企業からの協賛金として広告収入 20 万円と参加費もあわせて合計 217 万円の収入があった。

前回学会同様、U-40 への参加補助は継続して行っており 40 万円ほどを計上している。最終的な支出合計は 207 万円であり、予算の範囲内での運営ができた。

また特筆すべき点として、昼食はランチョンセミナー形式として企業から弁当・飲料を提供してもらったため、支出には含まれていない。

2. 第37回学術集会 開催のご案内(済生会熊本病院 押富先生、岩谷先生)

来年の第 37 回学術集会・総会の当番幹事を務めていただく済生会熊本病院 押富 隆 先生、岩谷 和法 先生より資料 2 (学術集会ポスター)の通り開催のご案内をいた だいた。

会期は令和7年6月14日(土)、15日(日)、会場は熊本城ホールを予定している。テーマは「過去から学び、未来を築く~ベテランの経験を若手の力に CONNECTS~」。若手がいてこそ教育施設協議会が成り立つと考えているので、若手医師の参加を促し、彼らが目指す未来に繋がる会としたい。

3. 交代幹事・退会施設の報告

資料3の通り交代幹事の報告および退会施設を報告し、ご承認をいただいた。

4. 次期役員体制への提案

坂本会長より、自身が 65 歳を超え、胸部外科教育施設協議会の会長も次の方へ交代 していく時期と考える旨の発言があった。来年 6 月に熊本にて開催される学術集会・ 総会の場で、次期役員体制への移行を予定している。次期体制案(次ページ参照)を発 表し、幹事よりご承認いただいた。

【次期役員体制案】

会 長	板東 徹	呼吸
副会長	德永 滋彦	心臓
副会長	新任 (未定)	呼吸
副会長	新任 (未定)	心臓
監 事	田尻 道彦	呼吸
監事	高梨 秀一郎	心臓

顧問:土屋了介、島本光臣、岡田行功、千原幸司、坂本喜三郎

なお、今年から胸部外科学会と心臓血管外科学会の理事会へ教育施設協議会の代表 者のオブザーバー参加が認められるようになった。

次期体制では、胸部外科学会へは板東次期会長に、心臓血管外科学会へは徳永副会長に参加してもらう予定である。また呼吸器外科学会についても理事会にオブザーバー参加ができるように働きかけてほしい。

5. 日本胸部外科学会定期学術集会での出展ブースのご案内

第77回日本胸部外科学会 定期学術集会にて教育施設協議会のブースを出展している。ブース場所はANAクラウンプラザホテル金沢 3階となっている。

昨年同様、修練施設のリクルート情報を掲載している。各施設の右下に QR コードがあり、これを読み取っていただくと、教育施設協議会のリクルート情報のページにアクセスできる。各施設の医師確保に活用していただきたい。

6. U-40、JATS-NEXT、呼吸器外科 NEXT との次世代教育、交流活動について

今年6月の学術集会・総会および懇親会の場で、幹事の先生方より若手・次世代教育に胸部外科教育施設協議会として関わっていく案をいただいた。U-40や JATS-NEXT、呼吸器 NEXT の先生方にも相談し、彼らのハンズオンセミナーに協議会から講師として人を派遣する方向で協議している。

すでに 10 月 19 日に九州地区で『U-40 Basic Lecture Course 福岡』が開催され、徳永副会長に参加してもらった。受講生 30 人に対して講師は 15 名、大学教授も $4\sim5$ 名講師として参加していた。九州地区は講師が足りないので、協議会から講師が派遣していただけるのは有難いとのことだった。他地域でも同様と思われる。U-40 Basic Lecture Course では講師に交通費宿泊費をお支払いいただけるが、謝礼は無しとのこと。

こういった活動は協議会の目的にかなったものと思われるので全国でも行っていき たいと考えるが、問題点として各地区の幹事人数にはバラつきがあり、特に呼吸器外科 の幹事数は心臓血管外科に比べて少なく講師の派遣が難しい地区があることが懸念される。

現在幹事がいる施設も、心臓血管外科、呼吸器外科の両方の医師が幹事となっている施設はごく一部であり、片方の科のみが幹事となっている施設が多数という状況である。まずはこういった施設で幹事ではない診療科の先生に幹事になっていただけないか声掛けをしていく必要がある。来年 6 月の熊本での学術集会・総会時に報告できるよう体制をつくっていきたい。

以上

第36回胸部外科教育施設協議会学術集会 収支報告書

収支

収入

項目	内容	金額(円)
① 参加費 (会員)	3,000 × 5名(施設会員は施設費納入者は0円のため)	0
② 学会補助金	1,000,000	1,000,000
③ 広告収入	50,000×4	200,000
④ 懇親会参加費	15000x52 10000x3	810,000
④ 懇親会参加費 同伴	25000x1	25,000
⑤ 二次会	3000 x 21	63,000
⑥ エスコン	4500 x 12、9000 x 2、1200 x 5	78,000
슴計		2,176,000

支出

項目	内容	金額(円)
	市立札幌病院 講堂	0
会場費	Stream Hotel, (送迎バス含む)	587,520
云场复	エスコン	73,500
	二次会 バーリュトン	181,550
旅費、宿泊費	交通費(講師):60000円×2名 (航空券補助)	120,000
	宿泊費(講師)30000円X1泊X2名	60,000
印刷製本費	ネームカード・名札ケース(60枚分)	1,063
	プログラム印刷:100部	209,000
U40支援	30,000円X12名(U-40欠席者1名)、15,000円 x 3	405,000
事務費	公印	1,580
	封筒・クリアファイル	1,210
	お菓子・飲み物	13,529
	切手代(84円x6枚)	504
	振込手数料(440円x7件)	3,080
運営費	秘書15,000x3、その他10,000x6 5,000x2	115,000
交通費	タクシー代	9,560
賞品代	懇親会ゲームなど	152,413
記念品	1300 x 63 1000 x 4	85,900
欠席者返金	15000 x 3 4500 x 2	54,000
学会	返金	101,591
合 計		2,176,000

<備者>

昼食の弁当、飲料についてはランチョンセミナー形式で開催し、企業より提供いただいた ため支出には含まれていない Japanese Council of designated teaching institutions for Cardio-Thoracic Surgery (J-CONNECTS)

第37回 胸部外科教育施設協議会 学術集会

 \sim J-CONNECTS 2025 In Kumamoto \sim

過去から学び、未来を築く

~ベテランの経験を若手の力にCONNECTS~

会期 2025年6月14日~15日

会場名 熊本城ホール (大会議室A4、中会議室E1+E2)

大会長/静岡県立こども病院 院長 坂本 喜三郎 当番幹事/済生会熊本病院 心臓血管外科部長 押富 隆 呼吸器外科部長 岩谷 和法

https://www.jpats-dic.jp/meeting

幹事変更の報告(新任・交代・退任)、退会施設の報告

新任幹事

	施設名	診療科	氏名
1	医療法人中山会宇都宮記念病院	心臓外科	松濱 稔
2	社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院	呼吸器外科	岩谷和法

幹事交代施設

	施設名	診療科	旧 幹事氏名	新 幹事氏名
1	国立成育医療研究センター	心臓血管外科	金子 幸裕	平田 康隆
2	福岡市立こども病院	心臓血管外科	角 秀秋	中野 俊秀
3	公益財団法人心臓血管研究所付属病院	心臓血管外科	松濱 稔	在國寺 健太
4	福山市民病院	心臓血管外科	喜岡 幸央	末澤 孝徳
5	社会医療法人恵佑会札幌病院	呼吸器外科	山﨑 成夫	垂水 晋太郎
6	岐阜ハートセンター	心臓血管外科	富田 伸司	小山 裕
7	徳島赤十字病院	心臓血管外科	福村 好晃	大谷 享史
8	独立行政法人国立病院機構帯広病院	心臓血管外科	菊池 洋一	(未定)
9	上尾中央総合病院	心臓血管外科	手取屋 岳夫	(未定)

幹事退任施設

	施設名	診療科	氏名	備考
2	公益財団法人天理よろづ相談所病院	心臓血管外科	上原 京勲	会員施設は継続

退会施設

	施設名	診療科
1	国家公務員共済組合連合会新別府病院	呼吸器外科
2	医療法人社団永生会 南多摩病院	心臓血管外科
3	独立行政法人国立病院機構山口宇部医療センター	呼吸器外科